

催し 人権大学講座修了生研修会

奈良から講師をお招きし、熱いお話を聴きます。

どなたでも参加できますので、気軽にお越しください。

【と き】

1月17日(水)
午後7時30分～9時

【ところ】

ライトピアおおやまだ ホール

【内 容】

○演題:「北山十八間戸と東之阪～子どもを大切に育んだひとびと～」

○講師: 部落解放同盟 奈良県支部 東之阪支部長 松田 好則さん

【問い合わせ】

ライトピアおおやまだ
☎ 47-1160 FAX 47-1162

催し 賃貸住宅相談会

高齢者・障がい者・外国人・子育て世帯など、住まい探しにお困りの人を対象に相談会を実施します。

伊賀市周辺で住まいをお探しの人は気軽にご相談ください。

【と き】

1月30日(火)
午後1時～4時

【ところ】

上野ふれあいプラザ 3階中会議室

【相談員】

○(福)伊賀市社会福祉協議会職員
○三重県あんしん賃貸住宅協力店員
○県・市職員

【問い合わせ】

建築住宅課
☎ 43-2330 FAX 43-2332
(福)伊賀市社会福祉協議会
☎ 21-5866
三重県県土整備部住宅政策課
☎ 059-224-2720

催し 更生保護女性の会 上野支部チャリティーバザー

【と き】

2月4日(日)
午前9時30分～午後2時30分

【ところ】

うえせん白鳳プラザ(上野東町 2957番地)

【内 容】

衣類・日用品・寝具・雑貨・食料品などの販売

【問い合わせ】

医療福祉政策課
☎ 26-3940 FAX 22-9673
伊賀市更生保護女性の会上野支部
☎ 21-2894 (担当: 吉川)

催し 男女共同参画セミナー

性別にとらわれず人権を尊重し個人の能力を十分に発揮できる男女共同参画社会の実現をめざし、セミナーを開催します。

【と き】

1月26日(金)
午後7時30分～9時

【ところ】

ふるさと会館いが 小ホール

【内 容】

○演題:「20代男子の本音とは～男女が共に社会参画できるまちづくり～」

○講師: フレンテみえ 服部 亜龍さん

【問い合わせ】

伊賀支所振興課
☎ 45-9108 FAX 45-9120

催し 春日神社拝殿 解体修理工事の現場見学会

三重県指定有形文化財(建造物)である春日神社拝殿の解体修理工事に伴い工事現場を公開します。室町期に建てられた大型拝殿の解体状況を見学できる貴重な機会です。

【と き】

2月10日(土) 午後1時～

【ところ】

春日神社(川東613番地)

【問い合わせ】

文化財課
☎ 47-1285 FAX 47-1290

催し 寺田市民館 「じんけん」パネル展

【と き】

①1月5日(金)～30日(火)
②2月1日(木)～27日(火)
午前8時30分～午後5時
※土・日曜日、祝日を除く。

【ところ】

①寺田教育集会所 第1学習室
②大山田農村環境改善センター 1階ロビー

【内 容】

『「同対審」答申を読み解く』
部落差別の解消が国民的課題であり、国の責務であると断言した「同和对策審議会答申」を改めて振り返り、そこに込められたメッセージを読み解くパネル展です。

【問い合わせ】

①寺田市民館
☎/FAX 23-8728
②人権政策・男女共同参画課
☎ 47-1286 FAX 47-1288

催し いがまち人権パネル展

【と き】

1月9日(火)～25日(木)
午前9時～午後5時
※土・日曜日を除く。
※18日(木)は午後7時30分まで延長して開館します。

【ところ】

いがまち人権センター

【内 容】

「DV(ドメスティック・バイオレンス)をなくすために」

【問い合わせ】

いがまち人権センター
☎ 45-4482 FAX 45-9130

● 広報いが市PDF版 ●

広報いが市PDF版を市ホームページでご覧いただけます。

<http://www.city.iga.lg.jp/>

※携帯電話のバーコードリーダー機能で読み込んでアクセスできます。



2次元コード ▶

【問い合わせ】 広聴情報課
☎ 22-9636 FAX 22-9617

「あんしん・防災ねっと」

携帯電話などのメールアドレスを登録した人には、市から緊急情報メールが届きます。また、災害時の緊急情報・避難所情報や休日・夜間診療所情報などが閲覧できます。

<http://www.anshin-bousai.net/iga/>

※携帯電話のバーコードリーダー機能で読み込んで登録できます。



2次元コード ▶

【問い合わせ】 総合危機管理課
☎ 22-9640 FAX 24-0444

お知らせ拡大版

お知らせ

催し

募集

まちかど通信

コラム

図書など

子育て支援・無料相談

募集 日常英会話講座

英語圏の人たちと気軽に英語で話せるようになるために、簡単なあいさつや自己紹介、数字や時間の表現や簡単な文章の作成などを勉強してみませんか。

※最終回には英語圏の人との茶話会を予定しています。

【とき】 1月25日から2月22日までの毎週木曜日（計5回）
午後7時～8時30分

【ところ】

ふれあいプラザ 3階中会議室

【講師】 Timothy Spicuzza

【受講料】 ※テキスト代含む。

○会員：2,000円

○非会員：3,000円

○中学生以下：1,500円

【定員】 30人程度 ※先着順

【申込方法】 電話・Eメール

【申込期間】

1月9日(火)～19日(金)

午前9時～午後4時30分

※土・日曜日を除く。

【申込先・問い合わせ】

伊賀市国際交流協会

☎ 22-9629 FAX 22-9631

✉ mie-iifa@ict.jp

【問い合わせ】 市民生活課

☎ 22-9702 FAX 22-9641

募集 上野天神祭 お囃子体験会

ユネスコ無形文化遺産「山・鉾・屋台行事」の1つに登録された「上野天神祭のダンジリ行事」で奏でのお囃子の体験会を行います。いつも祭りで聞いているお囃子の演奏を体験してみませんか。

【とき】 2月4日(日)

午前10時～正午

(受付：午前9時45分～)

【ところ】 上野西町集議所（上野西町3411番地）

【対象者】 小学生以上

※小学生は保護者同伴

【定員】 15人 ※先着順

【申込方法】

氏名・電話番号を、電話・ファックスのいずれかでお伝えください。

【申込期間】 1月9日(火)～31日(水)

【申込先・問い合わせ】 文化財課

☎ 47-1285 FAX 47-1290

募集 産学官連携セミナーin伊賀

【とき】 1月26日(金)

午後1時30分～

【ところ】 ヒルホテルサンピア伊賀
4階白鳳の間

【内容】

～伊賀研究拠点発

共同研究の進展に向けて～
三重大学伊賀研究拠点は、大学の「知」と伊賀地域・企業の「地域資源」との連携により、地域活性化に取り組んでいます。

今回は、地域との連携についてその取り組み事例を紹介し、産学連携の在り方や進展にむけて考える機会として開催します。

◆報告

①「三重大学のサテライト構想について」

伊賀サテライト長 尾西 康充さん

②「三重ティーエルオーの業務紹介」

(株)三重ティーエルオー取締役副社長

松井 純さん

◆講演

①「木質バイオマス発電所から発生する焼却灰の利活用方法ーケイ酸加里肥料としての可能性ー」

講師：三重大学大学院生物資源学
研究科 准教授 名田 和義さん

②「LEDを用いた植物栽培とナノ構造を用いた光学デバイス開発」

講師：三重大学大学院工学研究科
准教授 元垣内 敦司さん

③「共同研究による人工光型植物工場の環境管理と栽培技術の高度化」

講師：藤澤建機(株)営業部 係長
福井 宏史さん

◆中高大連携活動報告

①「夏の科学実習」

上野高等学校理数科1年生

②「環境化学入門」

桜丘中学校・高等学校サイエンス
クラブ

【申込方法】

氏名・所属(学校名・勤め先など)・
電話番号・メールアドレスを電話ま
たはファックスでお伝えください。

【申込期限】 1月19日(金)

【申込先・問い合わせ】

三重大学伊賀研究拠点

☎ 41-1071 FAX 41-1062

【問い合わせ】 商工労働課

☎ 22-9669 FAX 22-9628

募集 認知症サポーター養成講座

認知症について理解し、地域で見守っていただくサポーターを養成する講座です。

【とき】 2月22日(休)

午後1時30分～3時

【ところ】

青山福祉センター 教養娯楽室

【定員】

30人 ※先着順

【申込方法】

電話・ファックス

【申込受付開始日】 1月9日(火)

【申込先・問い合わせ】 地域包括支
援センター南部サテライト

☎ 52-2715 FAX 52-2281

募集 平成30年度 松阪高等学校通信制課程生徒

【試験日】 3月12日(月)

【試験科目】

作文・面接

※学力検査はありません。

【試験会場】 松阪高等学校（松阪市
垣鼻町1664番地）

【願書受付期間】

2月23日(金)～27日(火)

午前9時～午後4時

※27日(火)は正午まで

◆学校説明会

受験希望者は1週間前までに電
話予約をし、必ず出席してください。

【とき】 2月4日(日)

午後2時～3時30分

【問い合わせ】

松阪高等学校通信制課程入試窓口

☎ 0598-30-5300

【担当課】 生涯学習課

13ページの答え/

①「1月7日」

カギヒキは、カギ型に木の枝を切って決められた木にひっかけて引っ張る行事です。山の神は山仕事に従事する神であると同時に、田の神となって田畑に豊穡をもたらす神であると人々の信仰をあつめていました。

※設問と回答は「伊賀学検定370問ドリル」(上野商工会議所発行・伊賀学検定実施委員会編集)から抜粋